

議会だより

なかさつない



「元気にお返事！」
(上札内小学校入学式)



3月定例会で新年度予算を審議	P 4～11
一般質問～2人の議員が登壇	P 12～14

公共施設利用料 村外利用者は5割増しへ

中札内村議会3月定例会は、3月4日に招集され、会期を12日までの9日間とし行われました。4日に報告1件と承認1件、議案18件を審議し、原案どおり可決しました。再開した9日には、2人の議員が一般質問を行いました。10日から12日までの間、新年度各会計予算案6件を審議し、原案どおり可決しました。

条例制定・改正

3月4日に、こども誰でも通園制度に係る条例制定や公共施設の利用料に関する村内の各施設の設置条例などの改正が提案され、原案どおり可決しました。質疑の主なものを掲載します。

●中札内村老人保健福祉センター 設置条例

令和8年10月1日から、村外在住者が公共施設を利用した際の利用料を5割増しの料金とするため、14施設の設置条例を一括して改正するもの。

★福原議員

問 村民と村外利用者の料金に差をつけることは必要と考えるが、村外利用者を一律5割増しにした根拠は。施設の設置目的が違

う中で、料金の妥当性や現場の声など聴き取り、慎重に協議すべきではないか。

答 著しい負担を軽減し、計算もしやすく事務の煩雑も抑えられるということと5割増しが適切と判断した。

公共施設を有料化した際、貸館施設については面積割で一律に取り扱うという方針のもとで利用料が設定されており、同様の考え方による。

6ヶ月の周知期間の中で面積割の料金設定が妥当なのか否かを検証していきたい。

★北嶋議員

問 公共施設の利用料は村民が優

先で村外利用者が割増しという考え方は妥当だと思ふ。しかし料金一律で設定せず、各施設の利用形態や運営経費に応じて個別に見直すべきではないか。

答 現在の面積割を基本に一律5割増としたが、1時間・1回・1日単位など施設ごとの使い方や目的の違いは課題と認識している。行政改革大綱の中でも見直しを明記していることから、しっかりと検証・協議し提案させていただきたい。

●中札内村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

(その他関連条例2件)

子ども子育て支援法等の改正により保育所等に通わない生後6カ月～満3歳未満児が利用できる「こども誰でも通園制度」が創設、施行されるため改正するもの。

★大和田議員

問 誰でも通園制度対象者が36人以上いるが、受入定員の3人以上から利用申込みがあった場合はどのような方法で決めていくのか。

答 一時保育もあわせ一日6名が定員と考えているため、超過時は一時保育の利用も案内する。実施しながら運用を整えていく予定。



◎中札内村こども誰でも通園制度

6か月～満3歳未満で保育園に通園していない子どもが対象。月上限10時間の中で就労要件を問わず保育施設が利用できる。地域子育て支援拠点(子育て支援センター)で、週1回木曜日の午前中に実施予定。利用料は1時間300円。登録制で、一時保育との併用も可能。

●大規模草地育成牧場条例
昨今の飼料・肥料価格の高騰に伴い、牧場使用料を増額改定(改定率20%)とするため、本村条例の一部を改正するもの。

●中札内村定住促進条例

定住奨励金制度の効果検証と財政状況等を勘案し、対象期間を5年から3年間に改正するもの。

★宮部議員

問 村長公約や基本方針において移住定住対策は重点政策だと思ふが、施策からすると逆行しているように見える。住宅価格等も高騰する中、固定資産税相当額の支援期間を短くした理由は。

答 行革大綱を作成し検証している中で、不動産取得にかかる経費については3年で落ち着いてくること、また、これまで住宅取得などに関する補助金も拡充してきた。

泉団地跡地の分譲を契機に新制度としたい。



高校生育成支援金の入学準備金拡充

●中札内村高校生育成支援金条例
義務教育外となる高等学校等に就学する保護者の経済的支援を拡充し、高校生活を応援するとともに、教育環境・子育て環境の充実を図るため改正するもの。

★宮部議員

問 現在入学祝金5万円が支給されておられ、新年度から入学準備金として10万円支給したいとのことだが、毎月1万円の支援金、医療費の高校生までの拡充、国の授業料の無償化施策等がある中で、さらに増額した根拠についてお聞きしたい。

答

高校入学時の費用は制服等の価格上昇やタブレットの購入費用もあり、公立高校で約20万円、私立高校で25万円〜30万円程度かかると見込んでいる。準備金を10万円にすることで保護者負担を約2分の1程度に軽減できると考え設定した。

選挙公約の43施策の具現化の一つとして、拡充すべきと判断した。



●中札内村営住宅管理条例
退去時の修繕費高騰に伴い、入居時の敷金対象月数を見直しするため条例の一部を改正するもの。

★木村議員

問 敷金対象月数を2ヶ月とした理由は。また敷金の還付方法の見直しなどについては。

答

19市町村の公営住宅敷金等を参考としている。入居期間等により修繕内容が異なることから、新年度からは内規で修繕内容の基準を設け、負担区分を明確にし、敷金から入居者負担分を差し引いて還付していく形とする。

★船田議員

問 移住促進を掲げる村の方針と敷金を引き上げる理由の整合性をどう考え、今回の設定に至ったのか。

答

移住定住施策と村営住宅の管理運営は分けて考えている。近隣でも敷金2〜3カ月の例があり、民間ではさらに高い場合もある中で、村営住宅を適切に維持管理するために必要な財源として、今回の見直しを判断した。

指定管理者の指定

◆中札内村堆肥処理施設

○指定管理者

有限会社中島機械センター

○指定期間

令和8年4月1日〜

令和18年3月31日（10年間）

補正予算

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計の6会計の補正予算を審議し、可決しました。

補正内容と質疑の主なものを掲載します。

●中札内交流の杜管理費

・燃料費 ▲90万円

・光熱水費 ▲163万円

★戸水議員

問 当初予算から大きく減額されている要因は。

答

燃料費は給油のタイミングで多少左右される面がある。光熱水費の減額は、昨年度実施した体育館のLED化工事の影響が出ていると思われる。

●宅地分譲地造成工事

1億1446万円

解体撤去した泉団地跡地に宅地分譲地（20区画）の造成工事を行うとするもの。

●除雪委託

5596万円

今年度の実績と今後の見込みにより増額するもの。

※当初予算との合計額

1億2631万円

会計	当初予算額	今回補正額	補正後予算額
一般会計	56億8,560万円	1,004万円	61億1,335万円
国民健康保険	5億5,570万円	▲378万円	5億6,753万円
介護保険	3億7,140万円	174万円	3億8,794万円
後期高齢者医療	8,480万円	157万円	8,771万円
簡易水道	収入 2億5,199万円	849万円	2億5,284万円
	支出 2億4,496万円	▲217万円	2億4,389万円
公共下水道	収入 3億1,655万円	▲9,097万円	2億3,189万円
	支出 3億6,410万円	▲8,024万円	2億8,813万円

各会計の予算の状況

その他、各議案に関する審議結果や賛否一覧はこちらでご覧になれます



掲げる川尻村政初の本格編成

令和8年度は、第7期まちづくり計画後期基本計画の初年度として、「みんなでつくる！自然と笑顔になるまち なくさつない」をテーマに、①移住・定住対策、②福祉のまちづくり、③健全な財政運営の確立を三つの柱とし、村民ニーズへの対応と村長公約を実行するため、新規事業創設や拡充、既存事業の縮小・凍結により予算編成が行われました。

一般会計は、令和7年度当初予算レベルで対前年比2.5%増の58億2830万円と過去最高となりました。

主な要因としては普通建設事業で、道営草地畜産基盤整備事業関連や文化創造センターLED化工事、保育園屋根改修による長寿命化等が挙げられます。

国民健康保険特別会計など三つの特別会計と二つの公営企業会計を合わせた合計は、対前年比3.4%増の75億5304万円となっています。

予算審査における質疑・答弁の主なものについてお知らせします。

一般会計 歳出

● 地方バス路線維持対策補助金 1130万円

★船田議員

問 路線維持のため市町村負担が大きくなってきている。この補助金はいつまで続くと判断しているのか。

答 年々増加傾向にある。要因としては運転手不足による人件費の引き上げ、バスの維持費や修繕費の増加、物価高騰による経費の増加がある。人口減少の中、乗者数を増やすのは難しい状況にあるが、村としても高齢者のバス運賃を助成しながら、事業者とも協議し経費抑制や国の補助金を活用して路線を維持していきたい。

★北嶋議員

問 補助金額は増加傾向だが、路線維持は大切であり、村民の中には高齢者の運賃助成を利用し、映画や買い物など一日楽しく過ごされている方もいる。具体例を広報に掲載して利用促進につなげていくべきでは。

答 バスの活用について、乗り方についてはこれまで周知してきているが、バスの利用の仕方についても広報の中で紹介できる

よう検討してみたい。



気軽に利用してみませんか？

● ふるさと納税費 1億7640万円

★福原議員

問 今年度の2月末までの寄附金額と、現在ふるさと納税の寄附を増やすために行っている取組について確認したい。

答 令和7年度2月分まで2億8220万円余りとなっている。お礼状のほか、委託業者と連携して新商品開発に取り組んだり、レビューキャンペーンなどを企画している。また、本年1月からファツィオリピアノの演奏権を返礼品に追加している。

★北嶋議員

問 他の自治体で今までと同じふるさと納税の品物で寄附額が何十倍にも増えたという記事を知った。本村にも水や日高山脈など素晴らしいものが沢山ある。返礼品の打ち出し方も大切だと思うが。

答 日高山脈や札内川など本村の特徴を活かした、新たな魅力ある返礼品づくりに努めていきたい。



新たに返礼品として加わったファツィオリピアノ演奏権

● 企業立地促進補助金 1206万円

★宮部議員

問 前年に比べて金額が大幅に増えているのは村内企業のバイオガス発電によるものか。

答 昨年度認定した事業者、バイオガスプラントの部分が増加している。



◎ 企業立地促進補助金とは？
産業振興と雇用創出を図るため、事業場を新設・増設する企業に対し、固定資産、雇用、土地取得に係る経費の一部を助成する制度。

「住民の幸せ第一、現場主義」を

●健康ポイント事業

701万円

★大和田議員

問 健康ポイント事業による健康行動を習慣化するため、事業内容を大幅に見直した新たな制度とはどんな内容なのか。

答 新たな条件を設定し、達成した方に最大5千円の商品券を贈呈する。また、ポイントの寄附額は上限額20万円とし、寄附先は社会福祉協議会に移行することで地域貢献に結び付けたい。

景品が目的ではなく、自分の健康行動が習慣化していくところに大きなポイントを持っていきたい。



●敬老祝金 470万円

★宮部議員

問 99歳のお祝い品としては布団になっていると思うが、違った品物にならないかという村民意見も聞いているが。

答 3万円相当の布団を贈呈し、村長と担当課でお祝いさせていただいている。喜んでい

を家族から教えていただくこともあるが、違うご意見もあることが分かったので、今後検討してみたい。

●保育園改修工事

3807万円

★船田議員

問 屋上のひび割れによる雨漏りはいつ頃から生じていたのか。発見したときに補正予算に計上しなかった理由は、全面的な防水工事が必要だったのか。

答 7年度に1回、未満児の部屋で雨漏りが発生しており、数年前にも何度が発生している。屋根全面の防水塗装にひび割れが生じており、特に未満児の教室の上の劣化が著しい状況となっている。



施設課とも協議し大規模な改修が必要と判断し、地方債を財源に活用できるように当初予算で計上した。



改修により雨漏りや室内環境を改善予定

●中札内保育園業務費

7167万円

★福原議員

問 昨今帯広市内の認可外保育園などでは、紙おむつをサブスクリプションで保護者から一定のお金をいただきながら保育所で共同購入する取組がされている。保護者、保育士の負担軽減の観点からさらさら保育園でも考えられないか。

答 現在、紙おむつは保護者の方には記名しての持込み、保育士にはサイズ違いや取り違いなどないよう気をつけるなどで対応している。価格やおむつかぶれの予防など、様々な点を考えながら研究していきたい。



おむつのサブスク利用が広がりつつある

●上札内保育園外構管理委託 26万円

★福原議員

問 休園されている上札内保育園の活用について、夏期間は地域の方々に開放されている状況ではあるが、今後どのような方向性で考えているのか。

答 保育園としての活用は現実的には難しいと考える。現在は休園という形なので、閉園の手続きを経て今後の活用を考えていく流れになると思うが、具体的な方向性はないのが現状。



施設の活用について方向性の検討を

●通学用自動車運行管理委託 142万円

★大和田議員

問 上札内小学校児童の放課後児童クラブへの移動手段として「学童便」を運行することになったがその詳細は。

答 新年度はスクールバス利用児童がおらず下校便が運休となるため、「学童便1便」を予算内で運行することとした。



※次ページへ続く

公約実現にむけた予算と施策を審査

●母子保健事業費

1452万円

★戸水議員

問 出産子育てなどの助成金について、情報提供機会を増やして欲しいという意見があるが。

答 子育て支援政策が健康・こどもグループに一元化されることで、ライフステージに合わせた情報提供がより円滑にできると考えている。

4月から無償で提供できる母子手帳アプリを導入し、子育て支援情報などスマートフォンで受け取れるようになり、より充実した情報提供ができると考えている。



導入予定の母子手帳アプリ「ぴよも」

●特定健康診査委託 ★宮部議員

5万円

問 国保の特定検診受診率が令和6年度実績で52.8%と年々上がってきている。家庭訪問や電話等の勧奨のほか、診療所の医師との連携はどのように取られているのか。

答 令和8年2月末時点で対象者259名に受診勧奨し7年度

も診療所と連携し、予約込みで60件の受診をいただいている。

8年度からインターネットでの予約ができる仕組みを構築し、1月の巡回ドックからWEB予約が可能になる予定。

今年の健診はもう



特定健診を受診しよう

●墓地管理費 ★船田議員

60万円

●墓地の使用状況は。

問 共同墓地や合同墓に関する現在の取組状況と今後の方向性は。

答 近年、新たな墓地を取得した人はおらず、今年度は3件の返還を受けている。

合同墓については、アンケートを実施し、その結果を元に検討していく。



アンケートにご協力ください

●十勝圏複合事務組合負担金

9617万円

★大和田議員

問 家庭ごみの搬出先である「くりんセンター」の老朽化により新中間処理施設工事が実施されておられ、令和9年度工事完成予定まで負担金が増加となっている。完成後は十勝管内全市町村のごみ処理を行うと聞いている。各市町村の分担金の算定方法は人口割なのか、ゴミの搬出量によって決まるのか。また、新中間処理施設について今後住民にも周知が必要と思われるが。

答 分担金の算定方法はごみの搬出量により決まる。施設については時期を見て広報等で周知する。

●有害鳥獣対策費

1013万円

★宮部議員

問 アライグマ出没範囲が市街地の方まで広がってきている。夜行性動物であり、目撃情報を持って罠を仕掛けるのではなく、猟友会と話し合いながら設置箇所を増やしていくべきと考えるが、村の考えは。



答 アライグマが行動するのは夜間に限られることが多い。目撃情報がなくとも、例えば足跡や農作物被害の場所などの情報をもとに猟友会と適時、情報共有して設置を考えていきたい。

問 シカ駆除頭数が300頭にも関わらず減らない原因は。キツネのエキノコックス対策は十分であるのか。

答 アライグマ対策は箱罠を10基増やすと聞いている。農家の方でも罠の管理ができるよう広報を通じて広めていただきたい。

問 狩猟期間と駆除期間はどのようになっているのか。

答 シカの頭数が減らないのは、シカの全体頭数が増えているからと推測している。キツネについては、駆虫薬散布によりエキノコックスは1検体しか検出されておらず効果は出ている。アライグマの駆除については、農地等の維持を目的とした多面的交付金の会議でアライグマの目撃情報の聞き取り、狩猟免許取得方法など説明をしてきている。

駆除期間は、シカが3月から10月まで、熊は3月から9月まで、その他の獣種は1年間捕獲が可能。

「対話と行動力」による村づくり

免許を取得し、村・道の許可を得てから駆除が可能となる。



急増している
アライグマ

●有害鳥獣対策費（備品購入費）

114万円

★戸水議員

問 箱罾、檻罾に掛かった有害鳥獣の止め刺し方法として、ハ

ンター以外でも使用できる炭酸ガスを使用する装置購入の考えは。

答

電気を使用する装置はあるが、弱りはするが、駆除までには至らない。炭酸ガス装置についても検討していきたい。



炭酸ガス装置の例

●堆肥化処理施設土づくり交付金

1121万円

★戸水議員

問 財源が厳しい中、交付金を継続していけるのか。

答 令和8年度から大幅に運営方法見直しを行ったので、この先の収支決算予測がわからない。収支改善することもあり得るので、様子を見ていきたい。

問 堆肥化処理施設の長寿命化事前調査に基づいた今後の修繕計画は。また、施設維持負担金の積立の再開は。

答 莫大な修繕費が見込まれるが、令和8年度に今後の修繕計画を立てたい。積立については、運営状況、決算状況を見極めながら、大幅に収支改善するようであれば、指定管理者と協議していきたい。



運営方法を見直した
堆肥化処理施設

●道営草地畜産基盤整備事業負担金

★福原議員

3億9495万円

問 育成舎など本格的な工事が始まるどころではあるが、施工スケジュールなどいつ頃から稼働

可能なのか伺いたい。

答 育成舎、堆肥舎の完成は把握をしていないが、供用開始については道の許可を得た後、令和9年度4月からを予定している。



完成が待たれる大規模草地整備工事

●価格高騰対策小麦収穫機導入事業補助金

★木村議員

2000万円

問 基幹産業の農業支援は重要と理解する一方、物価高騰の影響は商工業者にも及んでいる。国の交付金活用にあたり、他産業への配慮や今後の支援をどう考えるか。

答

国交付金については、住民生活と事業者支援分をおおむね半分ずつ配分し、農業は機械の価格高騰分を踏まえて活用した。商工業支援は少ないのが現状で課題と認識しており、今後の制度設計の中で検討していく。



更新される小麦コンバイン

●まちなかにぎわいづくり事業補助金

★宮部議員

660万円

問 事業名が「まちなか」として中札内市街、上札内市街が該当となり、一度助成を受けた方は助成が受けられなくなり、限度額も500万円から300万円に変更された。今まで助成対象だった農村部の出店に対してはどのように考えているのか。

答

限られた財源ということもあり内容を改正し、助成金額についても下げている。減額理由は、管内状況を踏まえながら、シャッター街となっている市街地へ活気を誘導しようとするもので、農村部は補助対象外としている。

※次ページへ続く

公約実現にむけた予算と施策を審査

●観光振興事業補助金

2447万円

●日高山脈公園関係事業

111万円

★船田議員

問 国立公園の指定を受けてダムや各施設の活用を村の振興策としてどのように捉えているのか。

土産品の商品開発や村の宣伝など地域と一体となった振興策も必要ではないか。

答

札内川ダム利活用については、リムトンネルを活用した商品貯蔵の実証実験を行い、一部の商品で効果が確認できたことから、観光振興施策として事業者を募集し新たな商品の誕生を期待している。

各施設の利活用については村の観光基本方針に沿って、限られた財源の中、国の補助金などを活用しながら施策を講じていく。

土産品については、昨年、大手アウトドアショップとコラボしたTシャツの販売が大変好評だった。

今後、横展開で商品を増やすことになれば村も一緒にPRしていきたい。

★戸水議員

問 札内川ダムの湖面利用の許可を取っていただきたいが。

答

3月中にダムを所管している開発局河川事務所とダムの利活用について意見交換をする予定となっている。



観光資源として期待される札内川ダム

●道の駅関連施設管理費

3456万円

★船田議員

問 喫煙所の表示がなく戸惑う観光客等もいる。喫煙所を設置する考えは。

答 現在、喫煙所の表示をしている場所はない。設置ができるかどうかは、他の道の駅を参考にしながら、指定管理者とも協議していきたい。



道の駅の一部で喫煙が可能なスペース

●住宅リフォーム支援事業

1100万円

★木村議員

問 省エネ以外の住宅リフォームは5件枠だが、募集期間や選考基準はどうなるのか。外部改修の需要も高いため、補助額を抑えて件数や期間を柔軟にし、令和9年度以降も継続できないか。

答 募集は4、5月下旬予定。5件を超えた場合は必要性や工事内容などを基に基準を設けて選考する。省エネ重視の方針だが、8年の応募状況を見て検討する。



●多面的機能支払対策交付金

7614万円

★福原議員

問 対象農地の見直しにより前年度より280万円ほど少なくなっている。また、5年遡^{さかのぼ}っての見直しで各保全会においては返還金も発生している。事前に周知できなかつたのか。

答 村内対象面積5840haを毎年確認することは難しく、従前より5年間の最終年度に見直しを行ってきた。返還金については、令和8年度の交付金から返還いただくスケジュールで調整している。

答

村内対象面積5840haを毎年確認することは難しく、従前より5年間の最終年度に見直しを行ってきた。

返還金については、令和8年度の交付金から返還いただくスケジュールで調整している。



◎多面的機能支払対策交付金とは？

農地や水路、農道などの保全活動を地域ぐるみで行う団体に対し、国などが支援する制度。農業の生産だけでなく、洪水防止や景観維持といった多面的な機能を守ることを目的とする。

●若者世代奨学金返還支援事業

30万円

★木村議員

問 移住定住の新たな施策として有効だと考えるが、9カ月居住要件があるため、本村への転入前を含め、どの段階でどのように制度を周知するのか。

答 転入時に住民課窓口で案内を配布し、転入者へPRする。あわせて十勝管内の大学や高校、進路指導の先生、さらに企業への

「対話と行動力」による村づくり

周知も検討し、制度の有効活用につなげたい。

新規 働く若者の経済的負担の軽減
若者世代奨学金返還支援事業

若者の移住・定住促進と社会人生活の円滑なスタートを支援するため、奨学金の返還額の一部を助成します。

対象	支援内容
<ol style="list-style-type: none"> 十勝管内の企業等に在勤の方（公務員は除く） 令和8年4月1日以降に正規雇用された方、または起業した方 18歳以上25歳以下の方 令和8年3月1日以前に中札内村へ転入 9か月以上住民登録があり、申請後5年以上中札内村に居住する意思のある方 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金の返還額の一部を助成 申請後5年以上の居住が条件 若者の新生活・定住を応援！

若者世代の新たなスタートを応援し、将来の定住を支援します！

●部活動地域展開の推進
★大和田議員

問 新年度の中札内中学校の部活動は、更別村と連携し合同による活動が推進され、生徒の活動の場が広がることを期待するが、事業の内容は。

答 部活動の持続可能な環境整備を図るため、外部指導者や部活動指導員による指導、地域クラブへの支援を行う。

更別村と広域連携を進め、合同部活動の際はスクールバスによる送迎を実施する。

①中札内中学校と更別中央中学校が合同で部活動を運営・指導する体制が構築できるよう検討します。

中札内中学校
がメインになる部活動

授業日に週数回の
スクールバスの運行を検討

更別中央中
学校がメイン
になる部活動

②中札内・更別村合同の地域クラブの設立に向けた取組を推進します。

●スクールカウンセラー報酬
737万円

●スクールカウンセラー業務委託
215万円

★木村議員

問 スクールカウンセラー業務委託を一部個人契約に組み替える経緯は。また、これまで小学校で関わってきた保護者や児童への対応をどう考えるのか。

答 現在の担当者が北斗病院を退職し大学勤務となるため、中学校は継続して担当してもらう。小学校は新たに派遣を受け、必要な児童生徒には引継ぎを行い、同じ先生も関わりながら柔軟に対応する。



●文化奨励事業補助金
1010万円

★北嶋議員

問 音まちプロジェクト関係の中で色々と企画し実施してきているが、村民の参加が少ないとの声も聞く。その点についてどのように考えているのか。

答 ピアノ導入時は重点を置いて、演奏会やコンサートの企画が多かった。昨年の落語では子供から高齢者まで楽しんでいただいた。今後クラシックばかりでなく幅広い年代層に楽しんでいただけたような企画を実施していきたい。



好評だったサンドアート公演

●高校生生活全カサポート給付金
1670万円

★福原議員

問 昨年度までの高校就学支援、入学準備金を倍増する形での提案であるが、一方で中学校の給食費は保護者に増額をお願いする状況となっている。村長の所信を伺いたい。

答 縮小している予算が目立つ中、この部分については拡充させていた。高校入学時には制服やタブレットなど多くの費用がかかる現状にある。村に普通高校がない中で高校進学率100%、高校進学と共に村を離れる選択をされる家庭もあつたことから高校生への支援の拡充が必要だと判断した。中学校の給食費については国の動向を注視することで整理させていただいた。

※次ページへ続く

公約実現にむけた予算と施策を審査

★宮部議員

問

毎月1万円の助成と入学準備金の10万円の合算の予算となっているが、なぜ財源が福祉基金と教育振興基金が充てられているのか。また、今後の財源確保をどのように捉えているのか。

答

サポート事業全体の将来推計では、仮に令和16年まで制度を継続した場合、1億4千万円ほど財源が必要であり、現状のふるさと納税の規模でも教育振興基金、福祉基金に2300万円ずつ積み増しは可能と判断している。

昨年まで実施していた飲食店子育て応援制度(約140万円)を廃止し、その財源を振り分けることは可能と判断したところ。



●学校給食支援事業

2857万円

★木村議員

問

中学生分について、物価高騰対応の国交付金がなくなった後の負担はどうなるのか。

給食費は国の支援が入る小学生との差が大きいため、月額5千円程度に抑えるなどの対応は考えられないか。

答

交付金終了後も中学生分は村がある程度負担する必要があると考えている。

4年度以降の物価上昇分も踏まえ、給食の水準を維持するために給食費を改定することとし、国交付金による支援を入れての金額で設定している。



子どもたちが楽しみにしている学校給食

●青少年国際交流派遣事業補助金

543万円

★木村議員

問

ハワイの学校との相互交流事業は意義が大きい一方、受入れの負担で参加機会に偏りが出ていると考える。受入れ方法や保護者負担の軽減、また派遣研修型にするなどの考えは。

答

原則は相互受入れだが、公共施設の活用や受入れ家庭の別募集なども考えている。

相手校の来村が困難な状況が続くようなら、研修型なども検討する。



●交流の杜管理費

4712万円

★北嶋議員

問

村にはサッカー場が河川敷と交流の杜の2箇所あるが、交流の杜の一面だけでも中札内の子どもが優先して使えるようにすべきではないか。

答

交流の杜は交流合宿施設ということで、村民体育館とは位置づけが異なる部分がある。

少年団については荷物の都合や大会時の移動など使い勝手もあり、河川敷を選択されているという経過がある。

村民が使えないということではなく、サッカーに限らず、すべての競技において大会開催時など一時的に使用できない期間はあり、活動する場が村内にない訳ではないので、ご理解をいただきたい。



交流の杜サッカー場

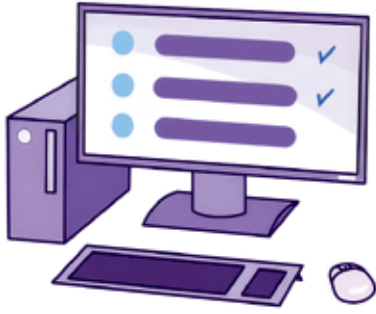
「対話と行動力」による村づくり

国保会計 歳出

● 預貯金調査電子システム導入
事業
★ 福原議員
41万円

問 国保税滞納者への預貯金調査ということだが概要について伺いたい。また、個人情報へのアクセスであることから慎重な運用をお願いしたい。

答 これまで郵送によってされていた預貯金調査がシステム導入によって作業の効率化、時間短縮、郵便料の削減がされるもの。あくまで滞納された税の徴収の最終手段として預貯金調査を行うものであるのでご理解いただきたい。

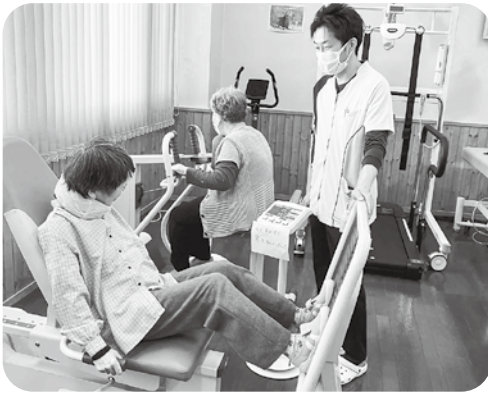


介護会計 歳出

● 介護サービス等諸費
★ 大和田議員
2億9928万円

問 診療所の通所・訪問リハビリテーションが開設され利用者が増加傾向と聞いている。元気に暮らしていくためにも必要なサービスと考えている。利用者人数を教えていただきたい。

答 令和7年度1月末の利用者数は138名で、今後も増える見込みとなっているため8年度の予算を増額している。現在の内訳は、通所リハビリと訪問リハビリ、それぞれ7名が通われている。



通所リハビリの様子

● 在宅医療・介護連携推進事業
★ 大和田議員
434万円

問 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護を連携支援するコーディネーターに活躍していただいているが、利用状況は。

答 コーディネーターへの相談件数は、1月末で延べ215名となっており、かなり増加している。内容は入退院支援が最も多いほか、終末期の在宅ケアや在宅看取りの支援についても取り組んでいただいている。また支援以外にも高齢者の集まりに参加するなど交流をもたれている。



コーディネーター窓口

歳入全般

● 基金残高について
★ 船田議員

問 年度末残高が3億3千5百万円減少しているが、財政健全化の中で今後、ふるさと納税で基金を増やしていくのか、単年度収支の中で基金を増やしていくのか。基金積立に関する村の考え方は。

答 ふるさと納税等の財源を確保する手段と行財政改革で支出側の経費を抑える手段がある。この間、財源補填となる財政調整基金の減り方が大きくなっており、8年度は地方債への振替を行いながら取崩額を削減している。基金や各種事業については、財政調整基金を将来的に10億円にするという一定の方向性をもちながら、引き続き歳入確保と経費の見直しを行っていく。

予算に対する質疑や提言が令和8年度の予算執行にあたり十分に効果が発揮されるよう、議会としても引き続きチェック機能を果たしていきます。

村政のここを教えてください！！

紙面の都合により、
内容を要約して
お知らせします。
※詳しい内容
(会議録)はコチラ



一 般 質 問

3月定例会では2名の議員が登壇しました。

各議員が質問を行っている様子→



とみず たかし 議員
戸水 隆

無痛分娩への助成について

13

YouTube 動画
開始時間

1分23秒～



おおわだ しょうこ 議員
大和田 彰子

村民体育館の現状と今後の方向性について

14

1時間
1分22秒～

一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。
年4回開かれる定例会でのみ行われます。

一般質問 その後を追跡！

産業

令和6年3月

「キッチンスタジオ営利目的の使用について」



●令和7年4月1日から営利目的での利用が可能となりました。事前に村から承認を受けた利用者自らが保健所の営業許可を取得すると、加工調理室で販売用のものを製造できるようになりました。

防災

令和6年9月

「クーリングシェルの周知及び暑さ対策の防災物品について」



●クーリングシェルターは役場、キッチンスタジオ、文化創造センター、カントリープラザ、上札内交流館の5か所設置しており、情報無線で周知しています。令和7年度からのぼりを設置しています。
●猛暑の中での避難に備え、暑さ対策の防災物品として、令和7年度に冷却タオル及び保冷剤の備蓄品を購入しています。



とみず たかし
戸水 隆議員

無痛分娩への助成に地方から声を！

村長

まずは希望される方には適切な情報提供を行う。

問 村として、少子化問題の大きな原因は何と考えていますか。

答 出産、子育てする年齢人口の減少の影響や、晩婚化やライフスタイルの選択肢の変化など複数の要因があると考えています。

問 帯広市に無痛分娩の対応を始めた病院がありますが、村内に無痛分娩を利用された方がいますか。

答 現時点では、無痛分娩を選択し、出産された方はいません。しかし、2名程が関心を持たれ、相談があった方には情報提供を行い、医療機関での相談をお勧めしています。



問 村民から、出産祝金の増額やおむつへの助成を希望される声がありますか。

答 財源が今後あるかないか、継続していくかどうか、増額を含め次年度以降の予算を見極めながら取り進めていきます。また、おむつへの助成は行っていませんが、使用済みおむつ用ごみ袋を無償で提供するなどの支援は行っています。

問 5年後、10年後、無痛分娩の利用者数、希望者数をどう推測されていますか。

答 情報等が徐々に広まり、増えていくのではないかと推測します。ただ、医療機関の受け入れ態勢が増えていかなないと、選択できない状況が今しばらく続くのではないかと考えます。



問 関東圏では助成を行っている自治体があり、道内では余市町が行っています。本村は、その考えはありますか。

答 陣痛を緩和し妊婦への負担を軽減する出産方法の選択肢であり、効果を感じ、検討される方もおられると思いますが、一方で、計画出産となり陣痛促進剤を使用しながら硬膜外麻酔を使用するため、副作用の

リスクがあることも理解した上で選択することが必要です。

また、帯広の医療機関では受け入れ体制が週一件に限定され、当面の間、予約は埋まっている状況です。希望されるすべての方が利用できる医療提供体制の確保の観点からも課題があります。

以上の現況や課題を踏まえ、等しく希望する分娩を選択し、誰もが利用できる環境が整っていないため、費用助成を実施する考えはありません。



問 国や道の少子化対策や子育て施策を待つのではなく、地方から動き始め、声を上げて欲しいですが。

答 中札内から発信していくことも大切ですが、しっかりと情報収集をして、どういう必要性があるかなど研究した上で、助成するか否かを考えさせていただきたいと思えます。

本村の出生数は、令和6年度は20人、10年前は31人でしたが、年々減少しています。国内でも人口減少は社会問題であり、特に少子化対策については政府もあらゆる対策や議論がなされていく大きなテーマとなり、社会を揺るがす課題となっています。本村においても、少子化対策として、いくつかの施策を講じていますが、近年、国内でも無痛分娩が出生方法の選択肢の一つとして注目されてきています。この状況について、村はどう捉えているのか、また、今後の少子化対策の施策にする考えがあるのか伺います。



おおわ だいしゅうこ
大和田彰子議員

村民体育館の現状と今後の方向性について

教育長

52年が経過し老朽化が進行している。早期に検討解析が必要。



村民体育館

現在ある「交流の杜」と「村民体育館」が統廃合の選択肢として検討されているのかと理解しました。そこで次の質問をいたします。

問 村民体育館は築年数も経過しており改修時期が来ているとも思われますが施設の現状は。

答 昭和48年にファミリースポーツセンターとして使用してから52年が経過しています。平成20年に耐震診断を受け、平成28年に大規模改修工事（耐震改修・アスベスト除去・屋根外壁改修・二階アリーナの床張替・一階多目的トイレ設置）を行い、施設や備品の不具合等は適時修繕対応を行っています。

問 ロビー床はがれとトイレの老朽化が目立つ状況については。

答 令和8年度にロビー床全体の張替を予定しています。トイレについては、便器以外に貯水槽や配管など技術的な対策が必要になるため、着手には至っていません。多目的トイレも自由にお使いいただけますし、掲示板にも分かりやすく表示していきます。



多目的トイレの表示

問 二階アリーナ非常口階段の冬季凍結対策は。

答 降雪時は職員が出向き避難経路の確保に努めています。階段凍結が見られるときは砂を撒くなど滑り止め対策を行っています。

問 築年数が経過し、一定の改修時期が来ている中で、今後も劣化部分を改修しながら引き続き使用していくのか、もしくは、二つある体育施設を一つに統廃合を検討しているのか、現段階での方向性についてどう考えていますか。

答 耐震診断での状況調査では、令和20年頃までは使用可能と判断されています。しかし、各種設備の老朽化が進んでいるため、今後の在り方については早期に検討し判断する必要があると認識しています。将来的に村民体育館が使用できなくなった段階で、交流の杜の合宿機能を縮小し、村民体育館を移管することも検討案の一つとして考えています。

答 耐震診断での状況調査では、令和20年頃までは使用可能と判断されています。

しかし、各種設備の老朽化が進んでいるため、今後の在り方については早期に検討し判断する必要があると認識しています。

将来的に村民体育館が使用できなくなった段階で、交流の杜の合宿機能を縮小し、村民体育館を移管することも検討案の一つとして考えています。

交流の杜体育館を新たな村民体育館として使用することで、多くの村民が日常的に利用する運動施設として役割を果たしていければと考えています。

（参考）

- ◎ 交流の杜体育館改修状況
- 令和3年 屋根改修
- 令和5年 体育館床改修
- 令和6年 体育館LED化工事

村民体育館は村の中心部に位置し、クラブ活動をはじめ高齢者を含む多くの住民が日常的に利用し、地域に欠かせない運動施設となっています。しかし、トイレの老朽化、ロビー床のはがれ、二階アリーナ非常口階段の冬季凍結の危険性など、利用者の安全性や衛生面で改善が必要な箇所が見受けられます。

また、今年2月に策定された「第2期中札内村公共施設等総合管理計画」では、今後、中札内村の厳しい財政状況や人口減少が進むことなどを想定し、いずれ施設の統廃合を図るなど見直しが必要とされています。



まちなかしゃべりカフェ開催!

1月30日にまちなかキッチンスタジオを会場に「まちなかしゃべりカフェ」(議会カフェ)を実施しました。
 昨年に引き続き2回目となる議会カフェでは、約40名の方にお越しいただきました。男女問わず若者世代や子育て世代、年配の方まで、幅広い年齢層の方から、貴重な意見や提案を沢山いただきました。お立ち寄りいただきました皆様、誠にありがとうございました。

【参加者からの意見】

- デマンド交通や福祉移送サービスを含めた地域交通の窓口一本化と車両の追加について
 - 村内のタクシー会社の必要性
 - 空き家、空き地対策の強化
 - 育休退園の緩和や病後児保育への対応
 - 健康ポイント事業の在り方
 - 人口減少と後継者不足問題
 - 公設合同墓(合葬墓)の設置
 - 永年定住者への住民サービス
 - 日高山脈襟裳十勝国立公園指定と地域の活性化について
 - 札内川ダムの湖面利用
 - 宿泊施設の確保
- など、その他多数

いただいたご意見は、各常任委員会でご振り返りを行い、議長と両委員長が理事者に報告書を提出しました。また、議員個々が今後の議員活動で取り組んでいきます。お茶を片手に気軽にお話できるような機会を今後も継続していきたいと考えています。ぜひご参加ください!

住民参加型予算制度ワークショップ【報告会】

『介護職等の奨学金返還助成』事業等について

報告会を開催

令和6年度に始動した住民参加型予算制度。

公募、無作為抽出により参加していただいた村民と議員がワークショップを通じて村の課題解決に関するアイデアを出し合い、その中でまちなかづくりの新しい施策として選定されたのが『介護職等の奨学金返還助成』事業です。

人手不足が顕著である介護職、保育士等の人材を確保することを目的とし、福祉課事業として7年度に予算化されました。

利用実績と成果は?

2月24日にワークショップ参加者の方々に、制度の利用実績を報告し、利用者の声や実施内容、今後の方向性について確認するなど、検証を行いました。

7年度で申請された方は3名で、当面は同制度を継続する予定です。



村道の歩道については年ごとに予算をつけて修繕する予定



道路交通法上、信号設置はできないが啓発看板が追加設置された

また、6年度のワークショップで提案されたまちなかの歩道の整備、役場前の交差点への手押し信号の設置などについて、取組の進捗状況を説明し、まちなかづくり施策について再度ご意見を伺いました。

◆ 猟友会との意見交換会（1/27）



猟友会中札内部会の方々から熊への対応、シカによる農業被害、急激な増加が課題となっているアライグマなど、現状や捕獲方法について情報共有するほか、担い手確保や資格等の維持費用など、活動における様々な課題について話を伺いました。
現場の声は大変勉強になり、緊急銃猟マニュアル策定など早急に取り組むべき点について確認しました。

◆ 営農セミナー（2/9）

帯広畜産大学浅利准教授による『獣害への取組についてー考え方と動物の生態について』と題した講演では、国内の獣害問題と捕獲効果、シカやアライグマの特性や被害軽減の取組等について話を伺いました。



◆ 中札内村・帯広畜産大学連携地域課題懇談会（2/10）

帯広畜産大学の河野准教授、東准教授、浅利准教授と研究生をお迎えし、懇談会が行われました。中札内村と畜大との産学連携の状況や、十勝と他地域での鳥獣害対策の研究成果、地域産業創生交付金の取組等が紹介された後、本村の鳥獣対策について意見交換を行いました。

ふるさと会で親睦交流！

3/6 帯広・中札内会



次の定例会は6月です！

日程が決まり次第、情報無線やSNS等でお知らせします。どなたでも傍聴できます。気軽に議場へお越しください。議会中継はYouTubeでも配信中です。「中札内村議会」で検索するか、QRコードからアクセスできます。



議会中継（録画版）もチェック！！

3/4 定例会招集日
条例改正、補正予算など



3/9 一般質問



3/10 予算審査 1日目



3/11 予算審査 2日目



3/12 予算審査 3日目



議会公式インスタグラム

ぜひフォローをお願いします！！



議員のひとこと



先日、娘が、家への帰り道がわからなくなった高齢者を保護した。娘は介護職で知識があり、職場からの帰り道にその高齢者を見かけ、歩き姿や雰囲気て異変を感じて、一旦自宅まで帰ってから弟を連れ、その高齢者のところまで引き返して声をかけたようだ。保護したのち判明したことだが、約10kmの道のりを、自宅を探しながら歩いてきたらしい。もし保護できていなければ、まだ寒さの残る3月の空の下、万が一の可能性もあったかと思う。
一方、私はと言うと、実は娘が発見するより前に、職場へ向かう途中でその高齢者を見かけ、（どこの方かなあ）と思っていたものの声をかけるには至らず、のちに娘から連絡を受け困っていた方だったことを知った。知識がなかったとはいえ、車を止めて声をかけることくらいは出来たはずである。この経験を糧にして、今後は心配な高齢者に対し、勇気を持って接するともに認知症等への理解を深め、適切な対応の仕方を学ぼうと思う。
日常生活の中で何か異変を感じたり、困っている方を見かけたとき、迷わず行動できる人でありたい。

（福原一斉）